

「平成26年度普及に移す成果」

## 7月東京盆出荷向けの白色コギク新品種 「常陸サニーバニラ」の育成とその生育特性

「常陸サニーバニラ」は花色が白色で、切花長が長く草丈が確保しやすく、花蕾数が多い頂点咲きで、市場性評価が高い品種です。開花期は6月下旬から7月上旬です。ただし、電照効果は期待できません。

### 育成と品種特性

- ・平成16年に「夏ひかり」×「雪舟」の組合せで交配し選抜しました。
- ・開花時期は6月下旬から7月上旬で、東京盆出荷が可能です。
- ・花色は白色です。
- ・切花長は「常陸サニーホワイト」、「雪舟」よりも長く、切花重は重いです。
- ・節数および花蕾数も多く、頂点咲きです。

みんなで進めよう  
茨城農業改革

農業総合センター  
生物学研究所  
園芸研究所



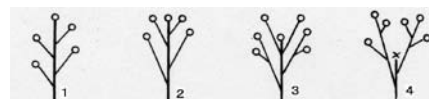
「常陸サニーバニラ」の開花状況

表1 コギク「常陸サニーバニラ」の特性 (平成23年度、生物学研究所)

品種系統	花色 (RHS)	開花日 始-終 (月/日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	節数 (節)	分枝数 (本)	花蕾数 (輪)	花径 (cm)	FF <sup>2)</sup>
常陸サニーバニラ	白(NN155C)	6/27~7/2	91.8	73.6	32.0	9.4	40.0	4.1	2.0
常陸サニーホワイト	白(NN155C)	6/29~7/3	83.4	55.1	29.6	8.4	28.2	4.5	1.0
雪舟	白(NN155C)	7/9~7/16	61.2	43.8	25.6	8.2	30.8	3.9	2.0

1) RHS カラーチャートによる。2) フラワーフォーメーション (右図)

3) 耕種概要: 定植日 3/31、摘心は定植1週間後、1株3本仕立て。



### 電照の効果

- ・電照栽培による開花調節(7月作型)の効果は期待できません。

表2 「常陸サニーバニラ」の電照栽培における生育特性の変化 (平成25年度、園芸研究所)

	開花日 (始-終)	切花長 (cm)	節数 (節)	FF <sup>1)</sup>
電照	6/28 (6/25-7/4)	113.8	37.8	1.3
無電照	6/30 (6/26-7/5)	110.4	39.9	1.4

1) フラワーフォーメーション (表1図参照)

2) 耕種概要: 定植日 3/26、電照開始は定植直後、消灯は 5/14。



「常陸サニーバニラ」草姿

### 生産者、市場の評価と栽培上の注意点

- ・現地試験の担当生産者からは、切花長、花色、ボリュームなどが優れるという評価を得ました。
- ・先行品種「常陸サニーホワイト」と比べてもボリュームがあり、花蕾の着色がないことから優位性があります。
- ・市場からは花数、ボリューム、フラワーフォーメーションが優れるという高い評価を得ました。

<問い合わせ先: 生物学研究所果樹花き育種研究室 Tel 0299(45)8331、園芸研究所花き研究室 Tel 0299(45)8341 >